

報告日 令和7年12月4日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	稲沢市			代表者名	加藤錠司郎
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	美術館	連絡先電話番号	0587-23-3300
担当者役職	主幹	担当者氏名	石川 路子	連絡先E-mail	
住所	4928217 愛知県稲沢市稲沢町前田365番地8				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ウィキペディアタウン稲沢(稲沢市荻須記念美術館)					
概要	本市は、本市出身の画家・荻須高徳を顕彰する荻須記念美術館を地域資源の一つと位置付け、本市の魅力向上を図っている。このたび、PR手段としてウィキペディアを活用するため、オープンデータ作成ワークショップ「ウィキペディアタウン」を開催したいと考えており、講師には、ウィキペディアの概要及び効果、編集方法などの実践的な講義をお願いしたい。							
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） オープンデータ 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館 観光							

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月30日	講演&フォローアップ(実地)	10時00分	16時30分	60
				活動時間（分）	330
2-2.	会場名	稲沢市荻須記念美術館／稲沢市立中央図書館	最寄駅	名鉄国府宮駅	
派遣場所	所在地	稲沢市稲沢町前田365-8 / 稲沢市正明寺三丁目114番地	最寄駅からの交通手段	コミュニティバス又はタクシー	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	青木 和人
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようにところがよかったです等詳細に）	11月30日（日）に開催した「ウィキペディアタウン稲沢」において、講師を務めていただき、参加者に対してウィキペディアの有効性を伝えていただいた。その後、参加者がアドバイザーとウィキペディアンの指導により、ウィキペディアへの書き込みを具体的に実践することができた。
アドバイザーへの要望事項	今回の参加者の中から市民主導でウィキペディアタウンが開催される際は、ご支援を賜りたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	8人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数		8		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市の「第6次稲沢市総合計画」（計画期間：平成30年度～令和9年度）では、荻須記念美術館は、本市の有する地域資源の一つであり、効果的に活用していくと記載している。しかし、近年、来館者数が固定化、高齢化しており、学芸員によるギャラリートーク、年1回の特別展の開催のほか、関係団体、地域住民と連携してさまざまな取り組みを行ってPRに努めているが、特に若い世代、市外からの誘客については、まだまだPR効果を発揮できていないと考えており、本取り組みが解決の一つになると考えている。 なお、本市では、昨年度、歴史をテーマに第1回ウィキペディアタウンを開催したが、歴史以外の地域資源に興味関心のある人たちへの拡大が課題であると考えており、今年度、美術館で開催することにより、この取り組みを進展・深化させたい。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・本市の「第6次稲沢市総合計画」に記載された地域資源の一つである荻須記念美術館の効果的活用の具体化として、地域住民（特にまちづくりに携わっている人）の発信手段にデジタルを加えることにより、PR効果を期待したい。 ・参加者が今後自発的にウィキペディアを活用して本市の地域資源を発信していく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ウィキペディアの特徴と注意点について講義を行っていただき、その後、講師と事務局で選定した項目（「荻須記念美術館」「荻須高徳」）について、参加者を指導していただきながら一緒に、記事を作成した。特に指導の中で、ウィキペディアに書く項目の選定については、参考文献が必須であり、資料選定が重要であること、著作権の問題等の指摘をいただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	稲沢市の地域資源である「荻須記念美術館」及び「荻須高徳」について、ウィキペディアの記事が充実しておらず、また、記事を修正したり、新たな項目を立てる人もいなかった。しかし、今回のウィキペディアタウンにより、これまでの2倍以上の分量の記事が追加され、内容が充実した。また、参加者がウィキペディアへの書き込みを経験したことにより、今後自分で調べてやってみたい、という声が聞かれた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑦その他 ①ウィキペディアに記事を書くことができる市民が増えたこと。 ②稲沢市の地域資源である「荻須記念美術館」及び「荻須高徳」のウィキペディアの記事が充実したこと。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	参加者が今後自発的にウィキペディアを活用して本市の地域資源を発信していくことを目指しているが、今回の参加者が実際にウィキペディアを使って発信していくかは、今の時点ではわからない。そのため、今回のようにウィキペディアタウンを定期的に開催していくことが望ましいと考える。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても構構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者が少人数であり、ウィキペディアタウンの最後に、参加者一人一人から感想や今後の活動予定について発表してもらったため、アンケート調査を改めて行っていない。なお、発表の中で全員から「参加してよかったです」「今日時間がなくて書けなかったことを自宅に帰ってから追加してみたい」「今後自分の興味のある分野を書いていきたい」との声をいただいた。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 今回の参加者が自らウィキペディアへ書きこむことや、ウィキペディアタウンを主催することを期待しており、支援していきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	若者、高齢者、市外住民など、多様な参加者が自ら美術館などの地域資源（地域の魅力）を調査して地域理解を深め、その成果をウィキペディアを活用して情報発信できること、併せて、参加者以外にも活動を広げ、情報発信できる人を増加させることも目指す。また、ウィキペディアに地域資源を掲載し発信することにより、美術館への来館者の増加を目指す。以上により、市民のシビックプライドの醸成につなげたい。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 揭載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

